

Title	編集後記
Sub Title	
Author	法学研究編集委員会 (Hōgaku kenkyū henshū iinkai)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1964
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.37, No.12 (1964. 12) ,p.319- 319
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	板倉卓造先生追悼論文集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19641215-0319

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

昨年十二月末、義塾大学名誉教授板倉卓造先生が、八十四歳の長寿を完うされて急逝された。本委員会においては、「法学研究」本年二月号に、取りあえず「追悼記事」として、先生から親しく教えをうけられた塾内有志教授の追悼文を集録し、以て先生の御冥福をお祈りした次第である。

板倉先生は、明治三十六年三月、義塾政治科がはじめて世に送つた卒業生の一人であり、明治四十三年以降、政治科の政治学、国際法の講義を担当され、今次大戦中、現役を退かれるまで、三十有余年にわたつて、学生の指導に尽された。また、法律科においても、国際法の講義をもたれていたが、この方は、昭和八年、先生の直弟子たる前原光雄教授にそれをゆずられている。されば、現在の法学部の全スタッフは、すべて先生の直弟子か孫弟子にあたるわけである。寔に、先生がわが法学部に残された足跡は大きい。

本委員会は、前述の「追悼記事」にひきつづき、先生の御一周忌を期して、追悼論文特別号の発刊を計画し、執筆者には、政治学科の全教授、それに法律学科より先生の御専攻にゆかりのふかい国際法専攻者の参加を予定した。幸にも大方の御協力を賜り、止むをえない事情から執筆のおくれた若干の方をのぞき、ここに九編の論考

を得て、予定通り発刊の運びに至つた。

謹みて、この論文集を先生の御霊前にささげると共に、御協力いただいた執筆者各位に感謝の意を表する次第である。

なお、口絵の写真は、昭和三十一年十一月十五日、義塾賞授与式に参列された先生を、経済学部平井新教授が撮影されたもので、同教授の御好意により掲載させていただいた。先生は日頃から写真ざらいであられたので、いまに残るこよなき記念である。

昭和三十九年八月十五日

法学研究編集委員会